

窓

京都新聞 令和2年(2020年)8月26日(水)

夏休み 全力で家で過ごす

宇治市・辻 紗矢(大学生・20)

新型コロナウイルスの影響により、外出を控える日々が続いている。今年の夏休みは、家族や友達と旅行をしたり、浴衣を着てお祭りに行き、花火を見たりすることもなさそうだが、今年の夏休みは今年しかない。どうしても楽しい夏休みにしたい。だから私は楽しむための計画を立てている。

その計画とは、夏休み中にある母の誕生日を盛大に祝い、家族で楽しい時間を過ごすことである。きょう

だいが家にいる時間が多いため、その時間を活用して作戦会議をし、家を華やかに飾り付けたり、妹と弟と手作りのケーキをつくったりするなど、ばれないように準備を進め、思い出に残る誕生日にする。また、ゲーム大会やビンゴ大会、スイカ割り、手持ち花火などをする計画も立て、妹や弟にとつても思い出に残る楽しい時間にしていきたい。考えているだけでもワクワクして笑みがこぼれる。

充実した生活を送れるこ

との有難さを忘れず、家で過ごす夏休みを全力で楽しんでいこうと思う。